

おだわら

発行 小田原市役所

〒250 小田原市荻窪300番地

編集 広報課 (☎33-1261)

平成3年
(1991年)

6月1日

人口・世帯 (5月1日現在)

人口 194,341人 (前月比+438人)

世帯 62,136世帯 (前月比+445世帯)



海・山・川と自然に恵まれた小田原

小田原らしさの発見
美しい都市景観を考える

最近、「景観」「都市景観」ということばを耳にしませんか。多くの人は、風景や景色といふことを連想して、絵はがきに描かれているような「きれいな場所」をイメージしています。

小田原市では、海や山などの市街地を取り囲む豊かな自然や、数多くの文化遺産を大切に守りながら、恵まれた気候や交通条件の中でもみなさんが生活しています。

このようす暮らしの中で、精神的なゆとり、やすらぎ、文化的な香りといった雰囲気をかもし出す情景を「都市景観」といえます。

都市景観は、海や川、山などの「自然」、長い間積み重ねられた「歴史」、私たちの生活を支える「都市」というつながり、さまざまな要素がかかり合っています。

そこで、市民のみなさんと行き来している「情景」を、「魅力ある小田原」を考える目をもつて描かれていくことがあります。おだわら21世紀プランでは、魅力あるまちづくりを目指して、みんなで見直し、守り、育て、つくっていくことが必要です。

都市景観形成モデル都市」に指定されました。

こうしたことから、小田原を行ってきました。また、本市は平成元年度に建設省から「都市景観形成モデル都市」に指定されました。

テスト、市民シンポジウムなど

が、景観に関する意識調査、都市景観市民懇談会、写真コンテスト、市民シンポジウムなどを実施してきました。美しい都市景観を考える…

市議会5月臨時会
議長副議長を選任

常任委員の選任や議案等の審議も



川口真男副議長



守屋喜代松議長



と「都市景観ガイドプラン概要版」を作成しました。これらの中には、本市の都市景観の特徴

なりすぎて、知らず知らずに忘れてきました。ゆとり、やすらぎ、やさしさ等。こうしたもの再び思い出していき、住みよいまちをつくるため、市民のみなさんにもまちの本当の主人公として「わがまち」をもう一度親しみを込めて見つめたいと考へています。

これらのパンフレットをご希望の方には、市役所五階の都市計画課で配布しますので、ぜひご活用ください。

地域に根ざした開かれた大学として、学生と市民の方がともに学ぶ機会ですので、18歳以上の方であればどなたでも受講できますが、会場の都合により受講者数に制限がありますので、お早めにお申込みください。

同時に学ぶ機会ですが、会場の都合により受講者数に制限がありますので、お早めにお申込みください。

江 多田清一(見健) ○吉田晴治 ○池田六美 山田文雄 相川正義 谷神久雄 加藤巴江

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

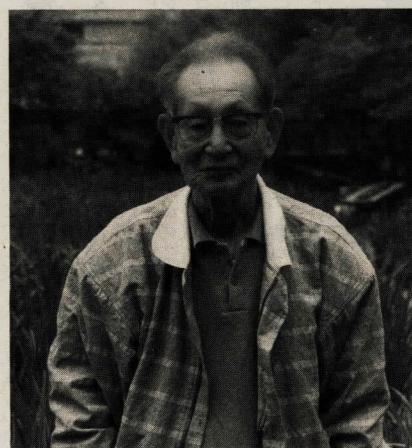
辰 章 高村和雄 関野隆司 稲坂英一 内田輝夫 ○磯貝捷彦 山 小林俊夫 ○磯貝捷彦 内田輝夫 ○下川脩平 山口

(3) 平成3年6月1日(土)

people people people people people people $v^{\circ}-31^{\circ}3$ people



自宅の菖蒲園を
無料で開放している
丸山誠吾さん



「どの花もどの株も、一生懸命に咲いていることがうれしい。百点満点でしょうと、語りかけてきます」。毎年、百五十種・千五百鉢の花菖蒲を丹精込めて育て、自宅の庭を無料で開放している。

一番苦労するのは、花が咲き終わつた後、株を植え替えてから鉢の底まで根が育つ期間。上の花を美しく咲かせるには、下の根をまずきちんと育てる必要がある。肥料や水は、何月にどのくらいやるというのでなく、根の育ち具合いを見ながらやるのがコツだ。人間と同じで、ハングリー

さがないとダメ。花の持つ強さ、可能性をつぶしてしまった時に満たしてやると出来の良い花は咲かない。「地球の重力も、月の引力も皆関係していない。実学だよ」と哲学者然とした表情で語る。

えを評価する。毎年五月になると、どの種類から傑作があるかが経験で分かり、開園待つのが一番楽しい時。が好きなのではなく、花はが好きなのかを見ていく」

people people people people people people people ۲۰-۳۱۰۳ people

辻村植物公園の

辻村植物公園の写真集を販売します。

◆書籍名 辻村植物公園の四季
◆大きさ B5判変形
◆ページ 六十三ページ

◆給食調理員（パート）一名
○条件等 概ね四十五歳以下の女性で、勤務時間は相談に応じます。

賃金は一回一万六千九百円。
無資格の人も募集しますので
ご相談ください。

1

叫えなくなつた 犬猫の引取口

1

6月18日(火)				6月11日(火)				6月4日(火)				引取場所	根府川(寺山神社)	飼えくなつた 犬猫の引取日
国	下	上	豊	橘	酒	大	下	曾	桜	富	市役所(西側駐車場)			
府	府	府	川	支	勾	窪	曾	我	井	水	連絡所	根府川(寺山神社)	時 間	
津	中	中	支	支	支	支	曾	我	支	支	所	時 間		
支	支	支	所	所	所	所	所	所	所	所	所			
14時30分	14時10分	13時50分	13時30分	15時15分	14時50分	14時20分	15時20分	15時00分	14時40分	14時20分	13時55分	13時00分		

◆注意 停車時間は10分間です。◆問い合わせ 生活環境課 ☎33-1486 小田原保健所環境衛生課 ☎22-3135

◆上記以外の引取場所 ○小田原保健所 8時30分~10時(土・日・祝を除く) ○県動物保護センター 9時30分~16時(土・日・祝を除く) ☎0463-58-3411 ※犬・猫の苦情・相談・野犬の捕獲依頼は県動物保護センターへ。

- ◆注意 停車時間は10分間です。◆問い合わせ 生活環境課 ☎33-1486 小田原保健所環境衛生課 ☎22-3135
- ◆上記以外の引取場所 ○小田原保健所 8時30分～10時
(土・日・祝を除く) ○県動物保護センター 9時30分～16時 (土・日・祝を除く) ☎0463-58-3411 ※犬・猫の苦情・相談・野犬の捕獲依頼は県動物保護センターへ。

危險物安全調查

6月2日(日)～6月8日(土)

ず知って!!
正しく使え危険物

身近な危険物の見直しをしよう

灯油、ガソリン、塗料等を安全な場所に保管していますか。

一滴の水も
地球の贈り物



小田原市水道局

水道週間

水道週間

家庭ごみの分け方・出し方(表3)

ごみの分け方		ごみの出し方
燃えるごみ	<ul style="list-style-type: none"> 台所ごみ 紙くず 木くず プラスチック類 (玩具・履物・容器等) 家具類 古紙類 繊維類 (衣類・布切れ等) 	<ul style="list-style-type: none"> 収集日の午前8時30分までに決められた場所へ。 生ごみは、水気をよく切る。 掃除機のごみは、紙袋等に入れる。 てんぷら油類は、紙などにしみこませる。 ビニールホースは、1メートルぐらに切る。 マットレスは、3分の1ぐらに切る。 じゅうたん・布団等は、自己搬入か市に相談を。 植木の刈り込み等は、長さ50センチ、直径30センチ以下でひもで束ねて週の後半に1回につき3束以内で。 家具類は、小さく壊して2~3回に分ける。 紙くず・古紙類はなるべく集団回収活動で出す。
燃えないごみ	<ul style="list-style-type: none"> 金属類 (空き缶・鉄くず等) びん類 大きいごみ (テレビ・洗濯機・自転車等) 埋め立てごみ (茶碗・植木鉢・電球等) 有害ごみ 	<ul style="list-style-type: none"> 決められた日時に集積場へ。 スプレー缶は、2カ所以上の穴を開ける。 トタン板は、ひもで束ねる。 缶・びん類は、中を水洗いして出す。 びんは割らずに出す。 大きなものは、買換え時等に販者店へ引取りを。 引き取ってもらえないものは、燃えないごみの収集日に出す。 バイクは、必ず廃車手続をして出す。 筒型乾電池は、燃えないごみの収集日に決められた所に出す。 ボタン型乾電池は、販売店へ返す。 燃えるごみが混ざったごみで、判断がつかない場合は市に相談を。
市で収集しないごみ		<ul style="list-style-type: none"> 大掃除等の大量ごみ、引っ越しごみ、オルガン、ベッド、ガレキ、火災の廃材、建築廃木材など
市で処理・処分できないごみ		<ul style="list-style-type: none"> 事業系の建設廃材、廃プラスチック、残土、プロパンガスボンベ、消火器、エンジンオイル、薬品類、浴槽、タイヤなど



毎日大量のごみが清掃車で清掃工場に運ばれます



このルールが守られずに「ごみが決められた日時に出されない」「犬や猫がごみをあさり散らかす」といった苦情が後を断ちません。

みんなで実行しよう

ここで、家庭から出るごみを減らすちょっとしたアイデアをいくつかご紹介します。

☆ 買い物はかごを持って買物に行けばお店の袋はいらなくなります。最近では、「袋かごや布バッグ等を持つて買物に行けばお店の袋はいらなくなります。最近では、「袋

不要の方はお申出ください」という案内を出している店もあります。

☆ 詰め替え可能な容器を詰め替えができます。

調味料類は後で詰め替えができるものを選びましょう。ま

た、いらなくなつた容器は有

価物収集に出しましょう。

☆ ラップ類は最小限にしよう

簡単な包装を心掛けよう

贈物の大げさな包装は避けま

しょう。小さいお菓子類は、

お店のテープをはつてももらう

だけで間に合わせましょう。

☆ ラップ類は最小限にしよう

や冷蔵庫で繰り返し使え、資

源の節約に役立ちます。

☆ リサイクルのすすめ

まだ使えるものは、バザーや

不用品交換会等に出しますよ

う。古新聞・段ボール・布切

れなどの集団回収活動にも協

力しましょう。

市も研究会で対策を検討

ごみの減量化・再資源化は、ごみ処理にかかる費用を減らし、ごみ処理施設のパンクを防ぐ一番の方法ですが、限りある資源をむだなく使えば資源の保護や資源の節約になりますし、ごみが減れば環境汚染から地球を守ることができます。また、みなさんの物を大切にする心を育て、有価物の収集等を通じて地域の人たちとコミュニケーションが深まるなど多くの利点があります。

市では、今後も家庭から出されるごみの減量化・再資源化に

は力を入れていきますが、「ご

み問題」は市の努力だけでは決して解決できるものではありません。

そのため、市はこのほど「廃棄物減量・再利用対策研究会」をつくり、より効果的なごみの減量と再資源化についての研究を始めました。また、去る五月二十七日には、資源回収業界の代表者と話し合いを持つなど、市民総ぐみで取り組むごみの減量と再資源化について検討を始めたところです。

ごみを出すのは私たち、ごみを減らせるのも私たちです。一人ひとりが生活を見詰め直し、ごみができるだけ減らしていく努力を心掛けたいものです。

ごみ問題に関することは、生

活環境課環境総務係(☎314)

問い合わせください。

広報課(☎31263)へお

問い合わせください。

市では、公共施設見学会を

実施しています。この施設見

学会を利用して、清掃工場の

ごみ処理の仕組みをご覧にな

ることをお勧めします。

問い合わせください。

塔ノ峰青少年の家

夏季アルバイト募集

この夏、自然の中で働いてみませんか。教育委員会

では、塔ノ峰青少年の家の夏季アルバイトを募集します。

奮ってご応募ください。

勤務場所 塔ノ峰青少年

の家(久野四八六六の二)

◆ 仕事の内容 施設利用者への物品貸出や、施設の維持管理の補助(住み込みが原則)

◆ 金額 加入手続や農業者年金全般について

○ 経営移譲年金、農業者老齢年金の受給手続について

○ 経営移譲年金受給による税法及び農地法の問題について

○ 経営移譲年金受給による手続について

○ 経営移譲年金受給による手続について

○ 経営移譲年金受給による手続について

○ 経営移譲年金受給による手続について

○ 経営移譲年金受給による手續について

○

加納・早泉組
(白山中)

優勝



平成3年度西湘地区
少年少女軟式庭球大会

この大会は少年138組、少
女185組、合わせて646人
の選手が参加して5月3日・6
日の両日、小田原城山庭球場で
開催されたものです。
加納・早泉組は決勝戦で城北
中学校の酒口・田原組を4-3
で下し、少年の部の優勝を勝ち
取りました。

おだわら
ヒビキ

母の日に感謝の気持ちを



第11回
県西地区障害者と家族のつどい

5月12日(日)、中央公民館で平
成3年度小田原市母子・寡婦福祉大
会が開かれました。

みんなが福祉の向上や健康の増
進などへの努力を誓う中、ご苦労さ
れた体験や、子どもからお母さんへ
の感謝の気持ちが発表されました。

「高浩の顔を見ていると元気
がわいてくるものね」：お母さんが
元気が出るのなら、ぼくのかおもす
てたものではないと思いました。」
東富水小学校5年生、岡村高浩くん
の言葉の一節ですが、参加者や来賓
も心を強く打たれた様子でした。

（東富水小学校5年生、岡村高浩くん
の言葉の一節ですが、参加者や来賓
も心を強く打たれた様子でした。）



6月8日(土)
~9日(日)

梅品評会

6月20日(木)
~21日(金)

梅干用
生梅即売会

市では、特産小田原梅の生
産振興と消費拡大を図るため、
次とのおり小田原梅品評会と
離れるよい梅酒用の白加賀、種
生梅即売会を開催します。

小田原梅は果肉が厚く、種
離れるよい梅酒用の白加賀、種
生梅即売会を開催します。

梅干用の十郎などがあり、か
ながわの名産百選にも選ばれ
ています。

梅干用生梅即売会

◆日程 6月8日(土)~9日(日)

午前9時~午後5時

◆会場 小田原城址公園内

◆問い合わせ 農政課農林係

◆問い合わせ 農政課農林

